

菅平少年自然の家

長野県菅平高原

菅平少年自然の家は、32年前の昭和49年8月、長野県現在の菅平高原に開所しました。周辺は、家のない山の中の一軒屋で、子どもたちがのびのびと安全に活動できる環境です。このため市内の全小学校の6年生が2泊3日の移動教室でも使用しています。少年自然の家は移動教室で使用しているとき以外は、どなたでも利用することができますので、ご家族や友人と一緒にぜひご利用ください。

晩秋の菅平

11月以降の菅平高原は、氷点下に近い気温の日が多くなり、木々も落葉して冬支度の季節になります。寒いこの時期は、温泉で心身ともに温まるのが一番車での30分ほどの間は、気軽に入れる温泉プール付きの「さなだ温泉」や、上田市の周辺にも多くの市営温泉などがあります。

冬季の菅平

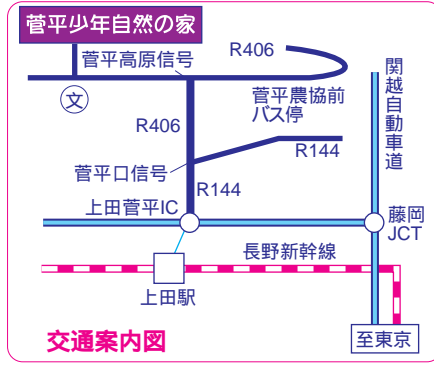
12月から3月末までの菅平高原は、一面が銀世界のスキー場になります。平均気温が北海道の旭川とほぼ同じで、スキー場の雪も水分の少ないパウダースノー。スキー、スノーボードに



最適です。小さなお子さんの遊びや雪遊びも楽しめます。

申し込み 市内居住者(使用人数の60%以上)は、使用日の3か月前から7日前までに菅平少年自然の家へ、電話でお申し込みください。(休所日及び休所日前日の午後を除く) 市外居住者の申し込みは、使用日の1か月前から7日前までです。

休所日 毎週火曜日 長野新幹線利用...上野駅(大宮駅)上田駅(バスで約1時間)菅平農協前下車(徒歩30分)菅平少年自然の家 自動車利用...関越自動車道



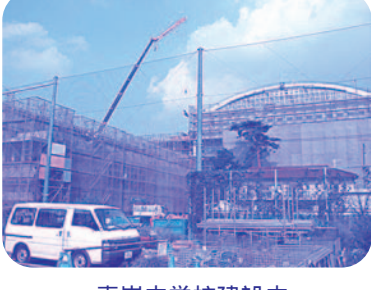
利用料金 (1人・1泊2食付き)
冬期(11月~4月)
区分: 未就学児(4歳~6歳), 小・中学生, 高校生, 青年(16歳~22歳), 一般
市民: (幼児食)1,150円, (-一般食)1,900円, 2,850円, 3,300円, 3,800円
その他: (幼児食)1,300円, (-一般食)2,150円, 3,800円, 4,600円, 5,300円

緑のカーテン状況報告

本年、「緑のカーテン」を小学校2校で試行しました。今年、初夏にかけて日照不足であったこと、梅雨明けが遅れたことなどの、天候不順による影響で、植物が思ったほど成長しなかったことにより、効果の検証を行うことが出来ませんでした。引き続き事業を推進し、実施校も増やしていきますので、地域の協力とご理解をお願いいたします。



青嵐中学校校舎・体育館建替工事等進捗状況
青嵐中学校校舎・体育館建替工事は、19年2月末完成に向けて予定どおり進捗しております。保谷中学校体育館等建替工事は、仮設体育館も完成し、既設体育館及びプールを解体し、建築工事に着手しております。完成は、平成20年2月中旬を予定しております。



青嵐中学校建設中



保谷中学校体育館完成イメージ

アスベスト対策進捗状況
学校の吹き付けアスベストの除去工事(柳沢小学校、保谷・田無第二・田無第四中学校)が、夏季休業中に完了いたしました。教育庶務課(内線2614)

表1 就学指導委員会日程表
回: 第5回, 予備日
開催日時: 平成18年12月21日(木), 平成19年1月18日(木)
申込み期限: 11月30日(木), 12月28日(木)
対象者: 小学校就学者, 転学者

表2 通級指導学級入級委員会日程表
回: 予備日
開催日時: 平成18年12月12日(火)
申込み期限: 11月21日(火)

就学相談・通級指導学級入級相談
来年度に小・中学校への入学や転学を考えている方々は今の時期には期待と不安を抱え新しい学校への取り組みを始められていることと思います。教育相談では、就学・転学・通級指導学級入級等の相談を実施しています。気がねなく就学相談員へご相談ください。

保谷第一小学校 学校紹介③
このコーナーでは、市立学校の特長や教育活動などを校長先生が紹介します。
さらに、本年度は環境教育の一環として、「緑のカーテン」の取り組みを行いました。今後も継続して行い、環境保護に貢献していきたいと考えています。
保谷第一小学校校長 島田 幸夫



田無第二中学校
落ち着いた学校生活の中で、課題発見・解決能力や判断力を養い、集中力や思考力を高めることをねらいに、「読書を中心とした学習(朝読書)」を始め、初年度は本に親しむこと、二年目は読書内容から自分が必要な情報の収集とまとめ、そして三年目は資料から自分の意見を発表できることを計画して始めました。
朝の25分間を集中した読書活動にあて、ある程度の量の文章が読めるよう工夫しました。また、移動教室や修学旅行での事前学習として、訪問地にまつわる調べ学習にも利用し、各行事が有意義な取り組みになるように配慮し、年を追うごとに、生徒の事前・事後の発表も充実しています。そして、特筆すべきことは、授業開始前に静かな雰囲気です。
かな雰囲気です。一定の時間を読書させることで、生徒の落ち着きが増してきたことです。
年次計画が順調に積み上げられたかの評価は、毎日の生徒の学校生活から判断することになります。最近では、朝読書の時間を心待ちにしている生徒が多くなっていることでも、取り組んだ価値は大きかったと考えています。
田無第二中学校長 浅倉 隆壽

